

胎内市の目標;住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送ることができる

胎内市の健康課題

●高齢化率

37.5% (R7.3 末)

うち、75 歳以上の割合が 5 割を超え、今後は令和 12 年に 75 歳以上の人口がピークになる。

●医療費

(円)

	1 人当たり の外来費	1 人当たり の入院費
胎内市	286,976	367,277
県	314,240	345,805
国	385,228	432,012

【外来上位疾患】

循環器疾患（不整脈）、糖尿病、高血圧、その他の悪性新生物

【入院上位疾患】

循環器疾患（不整脈）、統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害、肺炎

●介護給付費

認定率 16.9% (R6 年度)

一人当たりの介護給付費

	居宅	施設
胎内市	10,054	14,654
県	13,876	12,787
国	16,219	11,316

【有病状況】

「心臓病」「筋・骨格疾患」「精神疾患」「脂質異常症」「脳疾患」の割合が高い

福祉介護課健康長寿推進係(企画調整)

- ①KDB（国保データベース）システム等で健診・医療・介護データを分析（データヘルス計画等の分析結果も活用）
- ②重点課題を明確化、事業の企画調整、対象者の把握
- ③PDCA サイクルに基づき事業展開と評価を行う



市民生活課 ほけん年金係

- ④KDB（国保データベース）システム等で健診・医療・介護データを分析（国保データヘルス計画等の分析結果も活用）

経費は広域連合が交付
(保険料財源+特別調整交付金)
○企画・調整・分析等を行う医療専門職の配置
○日常生活圏域に医療専門職の配置
等に要する費用(委託事業費)

福祉介護課・地域包括支援センター・健康づくり課

高齢者

※フレイルのおそれのある高齢者全体を支援

保健事業

疾病予防・重症化予防

- ⑤国民健康保険と後期高齢者医療制度の保健事業を接続
 - ・重症化予防対策
 - ・糖尿病性腎症重症化予防
- ⑥個別的支援
 - ・生活習慣病等重症化予防
 - ・健康状態未把握者事業

～生活習慣病予防・フレイル予防～

- ⑦地域活動の場への専門職（運動、栄養、口腔、生活習慣病予防・重症化予防）によるアウトリーチ
 - ・健診の受診勧奨
 - ・健康教育、健康相談
- ⑧健診や通いの場でのポピュレーションアプローチ

介護予防の事業等

生活機能の改善

(生活習慣病予防・フレイル予防)

- ⑨短期集中予防型サービス（サービスC）
 - ・すこやかしあわせ教室
- ⑩介護予防事業
 - ・うさぎの会 ・ときの会 ・スマイル体操の会
 - ・介護予防リーダー養成講座
- ⑪地域で住民主体の介護予防活動支援
 - ・介護予防リーダー地域派遣
 - ・通いの場支援

かかりつけ医等の多職種との連携強化

- ⑫健康課題や事業の実施状況の情報共有
 - 健診・医療への受診勧奨
 - フレイル予防の普及啓発等の実施